

兵庫県公館（旧兵庫県庁舎） 下山手通4丁目



南側からみた兵庫県公館

現在の兵庫県公館は、もともとは兵庫県庁舎の本館であった。この庁舎は1902（明治35）年5月、最初の県庁舎として建築されたものである。この建物は近世フランス式ルネサンスの様式を取り入れたものであるが、1945（昭和20）年3月17日の空襲で戦災にあい、壁体を残すだけの状態となってしまった。

戦後、取り壊しもささやかれたが、結局、修復することが決まり、現在の姿となったのである。今は迎賓館などに利用されており、一部は県政資料館として一般公開している。国の登録文化財に認定されている。

場所：神戸市中央区下山手通4丁目4番1号



兵庫県公館(北側より)

出典：「神戸歴史トリップ」道谷 卓 著